

あわてて、それでもしのび足でネットをとりにもどりました。はやる心を押えながらそっと
とってかえました。いました。しかし人の気配を感じているらしく落ち着きません。

ネットのとどく範囲まで近ようとにじりよりはじめると、スーッと林の奥に入りました。
あわてて追いましたが、枝が邪魔になって、とうとう逃がしてしまいました。残念で残念で夢
にまでみた程でした。

その後、8月22日、9月22日にみに行きましたが、カケラもみられませんでした。
宝塚市の新家 勝さんからいただいたデータでは、1974年9月23日、猪名川町木間生、
クヌギの樹液に来ていたものを採集となっています。

2. シルビアシジミ *Zizina otis*

本種も、以前はかなりみられたようです。

奈良市の盛原 淳さんからいただいたデータでは、
1952年8月27日、1952年9月4日、1953年7月12日に川西市東畦野一の鳥居寒天場
でかなり採集されています。

私も、8月、9月に2度ずつ行ってみましたが発見できませんでした。

その他の、ミヤコグサの群生地もみに行きましたがみつかっておりません。

未記録の蝶を手に入れようと、今から張切っております。手に入りましたら、きべりはむし
の紙面をおかりしてお知らせします。

西宮市のネアガヨシヤンマ

田 中 稔

- 15-VII-78, 1♀, 甲山.

甲山の湿地でハッチョウトンボの観察をしていた所、ブッシュよりガサガサとヤンマが飛び
立ちしばらく飛んでいたが木の枝にぶら下ったので採集した所本種であった。初めての採集で
実に嬉しかったがこんな所におったかと意外な気もした。

- 15-VII-78, 1♂, 1♀, 上ヶ原浄水場.

甲山の帰り上ヶ原浄水場に寄る。ここは甲山森林公園より小川が流れており松を主とした雑

木林と言う様な所で、附近には最近マンション等が立ち始めている。ここにギンヤンマ、カトリヤンマ、ミルンヤンマ、ヤブヤンマ、コシボソヤンマ、1例ずつであるが9-VII-78アオヤンマ1♀、17-VII-77マルタンヤンマ1♂等が夕方に飛ぶ所である。当日もうす暗くなるのを待っていると前方より太いやんまが来る。やり過ぎて後からすくと本種の♀、又少しはなれた所で往復摂食飛行している♂を採集した。

○ 5-VIII-79, 3♂, 上ヶ原浄水場。

朝早く行くとネアカヨシヤンマの♂が雑木林の中を♀を探すためのぞく様な飛び方をしていた。夕方まっすぐに豪快に飛ぶのと対照的にセカセカとした飛び方である。又どの個体も♀を探すコースは同じだった。種はちがうがヤブヤンマの♀が雑木林の中で止っているのを見た。なお同じ時刻にコシボソヤンマが小川沿いに飛びながら水にぬれた松の木、笹のついた石に産卵しているのを観察した。

ミヤマカラスアゲハ・クロコノマチヨウ

神戸市北区下谷上にて採集

高橋 寿郎

ミヤマカラスアゲハの六甲山系での記録は1938年谷口和義氏が「那須のり子女史が摩耶山にて採集されたる由」と発表されたのが一番始めてである(昆虫界, 6巻, 55号, P. 761)。山本広一氏は1930年頃布引の滝の下手で確にそれと思はれる春型を目撃したことがあるとされており(兵庫生物, 5巻3・4号, P. 250, 1967)、吉坂道雄氏は摩耶山上にて1956年6月8日、目撃したと記録している(兵庫生物, 3巻, 4号, P. 234, 1958)。東正雄氏も御影付近で1960年夏型の雌を採集したと記録されている(兵庫の自然, P. 69, 1966)。その後人見勝氏は和田岬神戸検疫所宿舎の庭で産卵中の2雌を採集し(1963年9月11日, 9月29日)、それと思はれる1雌を目撃したと発表され(1963年9月29日)(蝶と蛾, 15巻, 1号, P. 26, 1964)、筆者は鳥原貯水池へ致る途中で1雌を採集発表した(1965年9月19日)(蝶と蛾, 17巻, 1・2号, P. 49-50, 1967)。やゝ離れた地点ではあるが神戸市北区の道場付近で2雌が採集されている(1966年9月15日, 1968年9月1日, 畑 薫, 堀田久氏, MDK NEWS, 66号, P. 20-21, 1968)。また1964年6月27日, 神戸市立教育植